

# 第 46 回大阪リウマチカンファレンス

バイオ医薬品 ～基礎と臨床～

謹啓 早春の候、先生方には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて「第 46 回大阪リウマチカンファレンス」を下記日程にて開催致します。

ご多忙とは存じますが、是非ご参加いただきますようご案内申し上げます。

謹白

大阪リウマチカンファレンス当番世話人 後藤 仁志 先生

日時:2019年4月20日(土) 14:30～17:00

会場:北浜フォーラム

大阪府中央区北浜 1-8-16 大阪証券取引所ビル 3F TEL:06-6202-2311

参加費:1,000 円(単位認定には別途受講料が必要です)

## ◇プログラム◇

□ 「あゆみ製薬製品紹介」 14:30～14:40

あゆみ製薬株式会社

\*開会の挨拶 14:40

西本 憲弘 先生

□ 特別講演Ⅰ 14:45～15:45

座長: 大阪リウマチ・膠原病クリニック 院長 西本 憲弘 先生

『 抗体医薬の製造技術—今考えられていること、今後おこること 』

演者: 大阪大学大学院工学研究科 教授 大政 健史 先生

<コーヒーブレイク>

□ 特別講演Ⅱ 16:00～17:00

座長:大阪市立総合医療センター総合診療科 部長 後藤 仁志 先生

『 RA 臨床におけるバイオシミラー 』

演者: 松野リウマチ整形外科 院長/東京医科大学 客員准教授

松野 博明 先生

\*閉会の挨拶 17:00

後藤 仁志 先生

☆日本整形外科学会専門医単位

2単位 (1単位:¥1,000-)

※特別講演Ⅰ:[14-4]R 特別講演Ⅱ:[6]R

☆日本リウマチ学会リウマチ専門医単位

2単位 (1単位:¥1,000-)

☆日本リウマチ財団登録医単位

2単位 (1単位:¥1,000-)

☆日本リウマチ財団登録リウマチケア看護師単位

2単位 (¥1,000-)

☆日本リウマチ財団リウマチ登録薬剤師単位

2単位 (¥1,000-)

☆大阪府医師会生涯教育単位

2単位 (無料)

\*終了後に情報交換会を予定しております。

共催:大阪リウマチカンファレンス・あゆみ製薬株式会社

## 第46回大阪リウマチカンファレンス 【抄録】

### ■大阪リウマチカンファレンス当番世話人

大阪市立総合医療センター総合診療科 部長  
後藤 仁志 先生

・わが国において関節リウマチ治療薬としての初めてのバイオ医薬品インフリキシマブに適応が追加されたのが2003年、エタネルセプトが発売されたのが2005年です。今では、関節リウマチ治療に寛解の維持を現実的なものとした伝説的な医薬品となり、バイオ後続品（バイオシミラー）が上市されるようになりました。このように身近になったバイオ医薬品について、基礎から臨床までもう一度勉強する機会を企画いたしました。皆様方の今後のリウマチ診療に少しでも役立てていただけることを願っております。

### ■特別講演Ⅰ

『 抗体医薬の製造技術—今考えられていること、今後おこること 』  
大阪大学大学院工学研究科 教授  
大政 健史 先生

・近年、バイオ医薬品の販売量は飛躍的に伸びており、中でも、抗体医薬はTop10に名を連ねるようになった。  
本講演では、バイオ医薬品の現状・今後の展望、その他の分野も含めた動物細胞培養等の技術・産業応用や、物質生産における微生物と動物細胞の相違点、メリット・デメリット等についてご紹介できれば幸いです。

### ■特別講演Ⅱ

『 RA臨床におけるバイオシミラー 』  
松野リウマチ整形外科 院長/東京医科大学 客員准教授  
松野 博明 先生

・バイオ医薬品開発までの費用は膨大であり、開発が成功し上市されても低分子化合物と異なり生産コストがかかるため薬剤費は高額となる。  
このためバイオ治療される患者の自己負担も高額で、国内の3割負担RA患者で月額約3-4万円が必要となる。  
バイオシミラーの薬価はジェネリックほど値引きされているとは言えないが、それでも治療費のためバイオを断念していた患者が利用可能な薬価に近づいたと思われる。  
RA治療におけるバイオシミラーの今後の可能性について講演したい。